

事故発生時に自転車側に違反の

あつた事故で約五十%は「安全運転義務違反」である。

一方、生徒の意識調査をまとめると、「違反しても事故にならない」や「罰を受けることがない」など心的な背景があり、普段から信号や標識の無視などをやっていることがわかつた。

(4) 事故防止につながらない安全走導各学校で行われている安全指導の現状は、学校行事等での一斉指導的な学習が多く、事故の発生状況や生徒の発達段階を踏まえた内容ではなく、生徒のニーズに合致したものではない。

2 事故防止に必要な指導事項の精選

(1) 学校における自転車安全教育推進のためには、早い時期からの自転車に関する指導が必要であり、各校種ごとの学習内容についても整理する必要がある。

(2) 生徒の実状に応じた自転車安全教育の充実のためには、生徒は法規やマナーを知りながらも実践で

きないという認識と行動の不一致の現状を教師が理解し、生徒の交通安全に寄せる願いと要望の実現に努めることが大切である。

3 この事業を実施して

交通事故が多発しているなか、事故防止のために交通安全教育の充

実があげられています。

そのためには、私たち教職員は学校は何をするのかの討議や、生徒の感性に訴える具体的な実践をするなど指導内容や方法について再検討をすることを知ることがで

きました。

「若人の翼」団員募集

明日を担う青年リーダーの育成を目指し、「若人の翼」が新たなプログラムで団員を募集中!

調査研究報告書からの抜粋

問3 短学活等で事故防止の話題が出ますか。

事前	出る 38%	出ない 62%
事後	出る 71%	出ない 29%

問4 学級活動で、事故防止の内容を十分話し合っていますか。

事前	している 23%	していない 77%
事後	している 57%	していない 43%

問5 けが等を防止する学級の係活動は、活発に行われていますか。

事前	いる 26%	いない 74%
事後	いる 51%	いない 49%

問6 練習前後に、けがの有無、体調の善し悪し等を部員同士で確認していますか。

